

目標: 神の憐れみの大きさは、自分と関係ないように見える人にも及んでいることを知る。
 聖句: 「ましてわたしは12万余りの、右左をわきまええない人々と、数多の家畜とのいるこの大きな町ニネベを、惜しまないでいられようか。ヨナ記4:11」
 時間: 10分
 道具: ホワイトボード、ペン
 対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5
 留意点: 前回話しの前半をおさえているので、それを前提にメッセージを進める。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	3分	前回どんなお話をしたか覚えていますか。 どんなお話でしたか。(言ってみてください。)	<ul style="list-style-type: none"> 覚えている 忘れた。 	忘れていても、覚えていても、前回のあらすじは振り返らせる。前回の話が今回の前提だからである。できるだけ子供たちの口から出させて内容の確認を行う。
課題探究	5分	<p>お話を確認します。 ヨナは神様のご命令に背いてタルシシへ逃げた海の上で遭難しかけ、放り出されたこと 大魚に飲まれたこと 魚の腹の中で悔い改めたこと</p> <p>今日はその後のお話です。 ヨナはニネベに行って宣教しました</p> <p>するとどんなことが起きたと思いますか。</p> <p>ニネベの人たちが悔い改めた</p> <p>ヨナは悔い改めたニネベを見てどう思ったでしょう。</p> <p>ヨナは町はずれでニネベが滅びるのを見ようとしていましたが、とても昼は暑くなりました。神さまはトウゴマを生えさせ、それのできる日陰をヨナは大変喜びました。熱風でトウゴマは枯れ、ヨナはまた怒り始めます。そこで神様が言われたのがこの11節とその前の10節です。 神さまが願っているのはどういうことでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 悔い改めた 分からない うれしかった。 うれしくなかった。 私を嫌っていたり、意地悪をする人たちであつても、神様は滅びるのを望んでいない。 分からない 	<p>子供たちの答えは敷衍し、全体の確認事項とする。</p> <p>余裕があれば、宣教の内容が、滅びの預言だけだったことにも触れる(神様を信じないから滅びるぞ)。</p> <p>悔い改めた理由として、ヨナの活動していたこの時期、アッシリアが弱体化していたことが分かっているのだが、CSでそこまで触れる必要はないだろう。魚の中にいたヨナであるから、服も体もボロボロで、預言の信憑性を感じさせられたことも一因と考えられる。時間によるが、そう考えた理由も説明させたい。一通り出させたら、聖書の言葉をそのまま用いてもいいので、ヨナがたいへん不満だったことを提示する。ヨナの気持ちの説明として、アッシリアが、ヨナの母国を長年いじめてきた国だったことには触れた方がいいと思う。 この一連の出来事は、教師が述べていくようにする。</p> <p>この答えは、出ない可能性が高い。教師の側でまとめてしまってもいいだろう。とにかく暗誦聖句を余韻として残したい。</p> <p>183号テキスト全体のテーマからの反映として、この事柄を信じて取り組ませたい。</p>
まとめ	2分	神さまの真実さは、私たちの考える範囲をずっと超えているのです。 暗誦聖句		